北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

11
第846号
2026年11月10日発行

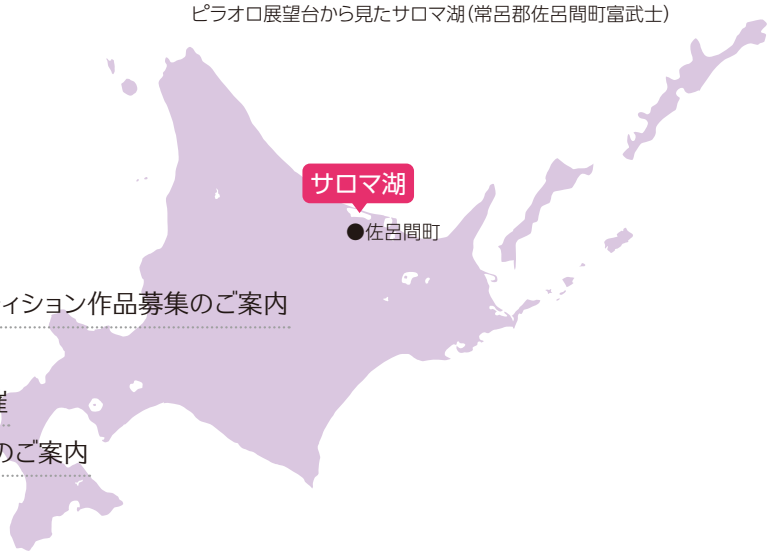


北海道の難読地名
富武士
難読レベル
★★★★☆

ピラオロ展望台から見たサロマ湖（常呂郡佐呂間町富武士）

CONTENTS

3 令和8年度第4回理事会開催される
3 令和8年度臨時理事会を開催
4.5 2026全日本印刷文化典沖縄大会開催される
5 全印工連組合功労者顕彰受賞者のご紹介
6.7 第20回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション作品募集のご案内
8.9 ストレスチェック義務化のご案内
10 ㈱アイワードが「社史と経営者伝・札幌展」を開催
10 北海道印刷関連業協議会「令和9年新年交礼会」のご案内
10 新規加入組合員のご紹介



北海道印刷工業組合
〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル
TEL.011-595-8071／FAX.011-595-8072
[Website]https://www.print.or.jp　[E-mail]info@print.or.jp

UD FONT
R80 古紙パルプ配合率80%再生紙を使用
GREEN PRINTING JAPAN P-80129 この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。
CSR
P-00023
この印刷物は、CSRに取り組む印刷会社が製作した印刷物です。

下期事業スケジュールを決定

令和8年度第4回理事会開催される

令和8年度第4回理事会が、10月6日午後1時30分から、理事9人が参加して、オンラインで開催され、下期事業スケジュールなどを決定した。

理事会は、定数報告の後、岸理事長を議長に議事が行われた。

最初に報告事項として、

⑴第34回北海道情報・印刷文化典札幌/小樽大会の開催結果について、参加者数・記念式典・記念講演・記念パーティの開催結果が説明された。

⑵HOPE2026の開催結果について、9月2日・3日の両日にアクセスサッポロを会場に開催され、展示会に45社76小間が出展し、実行委員会主催のパネルディスカッション、テクニカルセミナー、出展社6社による出展社企画セミナー6セッションの合計8セミナーが行われ、会期中2,625人の来場があったことが説明された。

⑶令和8年度組合員台帳の提出状況について、9月末の提出状況が84.4%であることが説明され、未提出の組合員12社に再度提出をお願いし100%の提出を目指すことが説明された。

⑷令和8年熊本地震災害義援金募集結果について、組合員に募金を呼びかけたところ28社から330,000円の義援金が集まり、9月30日に全印工連へ送ったことが説明された。

⑸令和8年度全印工連組合功労者顕彰候補者として、加藤憲一氏・矢吹英俊氏・岡部信吾氏の3人を推薦していることが説明された。

⑹事業実施状況について、6月の第3回理事会以降の事業実施状況を北印工組、全印工連・関連団体に大別して説明された。

⑺財務状況について、第2四半期(9月末)の中間決算について、貸借対照表、損益計算書、予決算対比表、賦課金納入状況について説明された。

次に、議事に移り、

⑴令和8年度下期事業スケジュールについて、組織の拡大、広報活動の強化、未来を創る業界運動の展開、共済事業への加入促進、福利厚生事業の実施、組織・財政状況の検討の実施事業内容・スケジュールが説明され、決定した。

⑵SR調達と公民連携でつくる地域のミライ～選ばれる企業になるための実践講座」in札幌について、矢吹理事より開催趣旨が説明され、最低25人の参加者を目指して参加の呼びかけを行うこととした。

⑶支部規約の一部改正について、本部直轄組合員が他支部に加入を希望する場合はこれを妨げないとすることを規約に盛り込むこととし、令和9年度通常総会に支部規約一部改正の議案を提出することを決定した。

⑷組合員との取引について、第3回理事会の決議を受け、組合員名簿の印刷発注を全組合員に公募を行ったところ、7社から応札があり、組合員との取引内規に基づき、パラシュート㈱に発注したことの決定が追認された。

⑸新規加入組合委員の承認について、3社の加入を承認した。

北海道磁気印刷株式会社　札幌支部
令和8年8月1日加入
北海道地図株式会社　旭川支部
令和8年10月1日加入
柏楊印刷株式会社　札幌支部
令和8年11月1日加入

⑹委員会の活動状況について、各担当委員長から委員会の実施事業・スケジュールなどの説明が行われた。

以上で、議事を終了し、各支部の活動状況ならび現況について報告が行われ、理事会を終了した。

令和8年度臨時理事会を開催

熊本地震災害義援金募集を決定

令和8年度臨時理事会が、9月4日午前10時から、理事10人と監事1人が参加して、書面決議で開催された。

議題は、令和8年熊本地震災害義援金の募集について、7月28に発生した令和8年熊本地震は、大災害となり、特に被害の大きかった八代市を中心に複数の組合員企業が被害に遭われ、災害救助法の適用範囲にも複数の組合員企業が所在することから、このたび、全印工連として義援金の募集を決定したことを受けて、当組合としても、「令和8年能本地震災害義援金および配分に関する内規」を原案どおり決定し、災害義援金の募集を組合員各位へ広く呼びかけることを満場の賛成で決定した。

2026全日本印刷文化典沖縄大会 盛大に開催される

“ゆいまーるの心”文化を刻み　未来を彩る～蘇る首里城　印刷の未来　沖縄から～

2026全日本印刷文化典沖縄大会が、10月16日午後1時30から沖縄県那覇市の沖縄ハーバービューホテルで、「“ゆいまーるの心”文化を刻み　未来を彩る～蘇る首里城　印刷の未来　沖縄から～」をテーマに、記念式典・全印工連メッセージ・記念講演・記念パーティの4部構成で、全国から617人が参加して開催された。

また、翌17日は全印工連フォーラムが開催された。

記念式典は、オープニングイベント「かぎやで風」舞踊、与那嶺正明実行委員長（沖縄県印刷工業組合副理事長）による開会宣言、国歌斉唱につづき、平山達也沖縄県印刷工業組合理事長が、「皆様ようこそ沖縄へお越しくださいました。心より歓迎申し上げます。全日本印刷文化典は、1973年に広島で第1回が開かれて以来、半世紀にわたり全国各地で受け継がれてきた伝統ある大会である。その大会が今回遂に史上初めて沖縄の地で開催されることになった。47すべての都道府県から遠く離れた沖縄まで多くの皆様にお集まりいただきましたことに心より御礼申し上げる。ありがとうございます。正直申し上げると、沖縄という離れた地にどれだけの皆様がお越しいただけるのか不安に思っていた時期もあった。しかし、今日、この会場を見つつ、皆様の顔を拝見し、その不安は大きな喜びに変わった。沖縄開催を信じて準備に奔走してくれた実行委員会の仲間にも心より感謝する。本大会のテーマは『“ゆいまーるの心”文化を刻み 未来を彩る～蘇る首里城 印刷の未来 沖縄から～』である。ゆいまーるとは、沖縄に古くから根付く互いに支え合うという精神である。人と人、企業と地域、業界と社会が手を取り合い、共に新しい価値を創り出していく価値協創の姿に他ならない。情報を伝える手段が大きく移り変わる今だからこそ1社だけでは成し得ない価値を、県境を超えて共に生み出していきたい。彩りを取り戻していく首里城のように私たち印刷業界も力を合わせて未来を切り開いていこう。独自の文化を紡いできたこの沖縄から業界の未来に向けた新たな一歩を全国の皆様とともに踏み出したい。記録する、伝える、動かす、この印刷が持つ根源的な力に立ち返り、変化を恐れず、挑戦を躊躇わず、次の世代へと確かに繋いでいく。沖縄初開催という歴史的な瞬間が、日本の印刷文化の新たな希望となることを私は信じている。本日、記念式典において、表彰を受けられる皆様、長年にわたり中小印刷業界の発展に多大な貢献と尽力を賜りました方々の功績と努力に対して衷心より深い感謝と敬意を申し上げる。皆様が切り開いてきた道のりに私たちの現在と明日がある」と開催工組代表あいさつを述べた。



次に、瀬田章弘全日本印刷工業組合連合会会長が、最初に「先般、被災を受けました熊本県印刷工業組合の皆様、心よりお見舞い申し上げる。まだまだ事業再興ならない同士がいると聞いている。今、全国の皆様から多くの義援金が全印工連に集まっているが、引き続き皆さんの厚い支援を賜りますようこの場を借りてお願い申し上げる」と述べ、「本日は、全国から617名の皆さんにお集まりいただき心より感謝申し上げる。また本日栄えある賞を受賞された皆様、これまでの功績を讃えるとともに組合員を代表して感謝の意を表する。前回の印刷文化典は3年前に広島で開催され、本年沖縄へとバトンが繋がった。沖縄県工組の皆様、これまでの準備と設営本当にありがとうございます。沖縄県工組は本土復帰がなされた1972年、47番目の県工組として全印工連に加盟された。ここに全47都道府県の全印工連が誕生し、我々の悲願が達成したわけである。本日この地で全日本印刷文化典が開催されることは感無量である。前回の広島、今回のこの沖縄、この2つの県を結び付けるのは平和への思い、そして復興を成し遂げた皆様の強靭な精神だと

思っている。第2次世界大戦で多くの尊い命が失われたことに深く悲しみを覚えるとともに平和のありがたさを噛みしめ、本日のように復興を成し遂げた人々の不屈の精神に万雷の敬意を表する。平和を守ること、復興を成し遂げること、それは容易なことではない。それを支えるための我々経済人は、奮起し日々努めなければならないと思っている。全印工連は北海道から沖縄まで組合員がおり、行政や教育機関はもとよりすべての産業と接点を持つ稀有な産業である。志と気概をもって、暮らしを彩り幸せを創る印刷産業に創り上げ、我が国を豊かにしていこう。そのためには組合の本質である連帯・絆・共済・助け合い・対外窓口・地位向上のための働きが不可欠である。印刷文化典はそれを確かめ、さらに強める大会である。各県を代表して参加していただいた皆様、是非、この意義を地元の皆さんにしっかり伝えていただきたい。現在、日本はデフレ社会からインフレ社会へ移行し、パラダイムシフトが起こっている。資材高騰、賃金の上昇や人手不足、AIによるDXの進展なども、我々も経営のやり方をシフトしなければならない。誰も幸せにならない価格競争はもう止めて、新たな価値を協力して創造する価値協創へと早く転換する必要がある。全印工連では価格転嫁や資材の正しい取引など、取引適正化を一丁目一番地として事業を進めている。同時に皆様の会社が新たな価値を創出する支援として84もの事業を進めている。CSR戦略・環境戦略・AIの取り組み、多様な人材活用・育成など皆さんを後押しする支援策を役員・皆さんと一丸となって進めている。双方向の情報のプラットフォームとしてJ-CONNECTを今回導入し、約3,400社の組合員がもっと強く・広く繋げていけるようにしたいと思っている。沖縄のみなさんが大切にし、その精神を表す言葉に『ちむぐくる』があると聞いた。これは真心、人を大切にするという意味があり、その心が『ゆいまーる』、相互扶助につながると教えていただいた。全国の同士を繋ぎ革新を続けてきた全印工連、これまでの先輩方が培っていただいた唯一無二の力を基に皆さんと未来を創造していこう」と式辞を述べた。

来賓紹介の後、赤澤亮正経済産業大臣（代理：長嶺さおり内閣府沖縄総合事務局経済産業部長）、古謝玄太沖縄県知事（代理：宮城嗣吉副知事）から祝辞が述べられた。

表彰では、印刷産業発達功労者顕彰を3人、印刷関連産業功労者顕彰を1人、組合功労者顕彰を64人、優良従業員表彰を83人の方々が受賞した。

北海道からは、組合功労者顕彰を加藤憲一氏（㈲加藤印刷・札幌支部）、矢吹英俊氏（㈱ホクラミ・同）、岡部信吾氏（北陽ビジネスフォーム㈱・同）の3人が栄えある受賞をした。

受賞者を代表して、印刷産業発達功労者顕彰を受賞した滝澤光正前会長が、謝辞を述べた。

つづいて、比嘉圭之沖縄県印刷工業組合青年部会会長により印刷文化典宣言が発表された。

池宮城拓沖縄県印刷工業組合副理事長の閉会の辞をもって、記念式典を閉会した。

令和8年度全印工連組合功労者顕彰 おめでとうございます

2026全日本印刷文化典沖縄大会が、10月16日、沖縄県那覇市の沖縄ハーバービューホテルで開催され、長年にわたり業界の指導・育成に尽力され、振興・発展に大きく貢献された方々の表彰が行われた。

北海道からは、加藤憲一氏・矢吹英俊氏・岡部信吾氏の3人が栄えある組合功労者顕彰を受賞した。



加藤憲一 氏

有限会社加藤印刷
代表取締役

監事

《役員在任期間》
12年5月



矢吹英俊 氏

株式会社ホクラミ
代表取締役

理事

《役員在任期間》
12年5月



岡部信吾 氏

北陽ビジネス
フォーム株式会社
代表取締役社長

副理事長

《役員在任期間》
12年5月

第20回メディア・ユニバーサルデザイン コンペティション作品募集のご案内

全日本印刷工業組合連合会は、「第20回メディア・ユニバーサルコンペティション」を開催する。

同連合会では、「すべての人に優しく、誰もが快適に利用できること」を目的として、より多くの人に伝わる情報を提供する技術である「メディア・ユニバーサル（MUD）活動」に取り組んできたが、この取り組みを、伝える技術としてだけではなく社会に実装した行動変容を促す仕組みとして進化させるべく、アイディアに富んだ作品を募集している。

■主　　催　全日本印刷工業組合連合会

■後　　援（予定・順不同）
一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会
朝日新聞社
一般社団法人日本印刷産業連合会
一般社団法人日本グラフィックサービス工業会
全日本製本工業組合連合会
一般社団法人プロモーショナル・マーケティング協会
公益社団法人日本パッケージデザイン協会
NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会
NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構

■募集作品　高齢者・障がい者やこども、外国人などに対して、見やすさ、伝わりやすさに配慮したデザイン手法を用いて制作されたもの
〔例〕カレンダー・地図・パンフレット・サイン・パッケージ・チラシ・ポスター・ラベル・カードゲームなど

■募集部門

部門名	対象となる作品	作品例
①見やすさ部門	色・文字・レイアウト・印刷加工により「見える・読める・手にとりやすい」を実現した作品	色覚に配慮した配色 /UD フォントの活用 / 蝕知印刷 / めくりやすい製本・後加工
②わかりやすさ部門	図解・やさしい日本語・情報整理により「読んで理解できる」を実現した作品	手順の解説 / フローチャート化した申請案内 / やさしい日本語・多言語の冊子
③行動デザイン部門	読んだ人が「次の一歩」を踏み出せる仕掛けを設計した作品	避難行動を促す防災ツール / 服薬支援ツール / 学んで実践できるカードゲーム
④デジタル連携部門	QR・AR・アプリなどにより、紙とデジタルをつないだ作品	QR から動画解説 /AR での経路表示 / 音声読み上げとの連携

※迷った場合は、「その作品で最も力を入れたところ」で部門を選ぶ
※部門は、審査の視点を分けるためのもので、部門による有利・不利はない
※自社制作の成果物として既に流通している製品でも応募可能
※既成の自社作品について、MUD に配慮した“before and after”の作品でも構わない
※既成の作品の改善提案の場合は、知的財産権への配慮に注意

■応募資格　一般の部：プロ・アマを問わず、どなたでも応募できる
学生の部：大学・短期大学・専門学校・高等学校に在籍している学生・生徒

■応募対象作品　2025年7月以降に制作されたもの

■応募方法　出品申込フォーム（Googleフォーム）に必要事項および作品説明を記入のうえ、作品1点とデータ1点（ai/eps/jpeg/pdfのいずれかの形式でアウトライン化して保存したもの）を送る
データは、ギガファイル便等のファイル転送サービスを利用のうえ、メールにて提出
※受賞作品に選ばれた場合は、提出データをもとに受賞作品集の制作を行う

■出 品 料　一般の部：3,300円（応募作品1点につき）／学生の部：無料
※2026年12月4日までに振込

■授 与 賞

	一般の部	学生の部
経済産業大臣賞	表彰状、賞金100,000円	表彰状、図書カード20,000円分
優　秀　賞	表彰状、賞金50,000円	表彰状、図書カード10,000円分
佳　　作	表彰状、賞金10,000円	表彰状、図書カード2,000円分

■審 査 日　2026年12月14日(月)

■審査結果発表日　本審査日より1週間後　※入賞者のみ入賞通知書を送付

■審査基準　a.メディア・ユニバーサルデザインの観点から、見やすさにおいて優れているもの
b.情報の整理・図解・言葉づかいの工夫により、わかりやすさにおいて優れているもの
c.受け手が次の行動を起こしやすいよう、導線や仕掛けが工夫されているもの
d.斬新な発想とアイデアにより、独自の新規性や工夫・技法が考慮されているもの
e.それぞれのメディア(部門)において、実用的かつ機能的なもの
以上5点を総合的に勘案し、審査を行い、最も優れた作品を経済産業大臣賞として表彰する。
部門ごとに表彰されるわけでなく、あくまでも一般の部と学生の部で区分表彰される。

■表 彰 日　2027年2月に東京都内での開催を予定

■知的財産権について
⑴応募作品に関わる知的財産権は、各権利者に帰属することとする。従って、応募者は応募作品に関して自ら適切な権利処理を行い、第三者の権利を侵害するものでないことを保証しなければならない。
⑵応募作品が第三者の権利を侵害していることが判明した場合、また、類似等が認められる場合は、審査対象からの除外、または受賞を取り消す場合がある。
⑶受賞作品は、展示・公開され、また応募作品は各種印刷媒体・ホームページ等に掲載される場合がある。また、その時に一部変形および翻案を行う場合がある。
⑷その他、第三者による権利侵害等の紛争が生じた場合、応募者自らが解決することとし、主催者は損害賠償等の責任を一切負わないものとする。

■注意事項　⑴応募期間を過ぎての作品応募および振込期限を過ぎての出品料の振込がなされた場合は、審査および受賞対象から除外する。
⑵作品の保管場所や審査会場・展示会場の都合により、作品サイズによっては実物による出品の受付ができない場合がある。
⑶応募作品およびデータの返却は行わない。

■作品応募・問い合わせ先
出品作品フォーム　https://forms.gle/uN2XB8M94N8pLhPt9
データ　E-mail：mud-competition@aj-pia.or.jp
現　物　〒104-0041　東京都中央区新富1-16-8　日本印刷会館4F
全日本印刷工業組合連合会「第20回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」宛
TEL.03-3552-4571

労働者数50人未満の事業者も

ストレスチェック が義務になります！

令和10年 4月1日 スタート



ストレスは見えません。
チェックしましょう。

ストレスチェックは、2015年から、労働安全衛生法において実施が義務付けられています。

2025年の労働安全衛生法の改正により、これまで努力義務とされていた労働者数50人未満の事業者にもストレスチェックの実施が義務化されました。

ストレスチェックって何ですか？

事業者による職場のメンタルヘルス対策の取組です。労働者にストレスの状況についての検査（ストレスチェック）を実施し、**本人のストレスへの気付き・セルフケアを促す**とともに、検査結果の集団ごとの集計・分析を通じて、**職場のストレス要因の改善**につなげることで、メンタルヘルス不調の未然防止を図る仕組みです。

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

ストレスチェック制度に取り組む意義

労働者のメンタルヘルス不調の未然防止が重要です。ひとたびメンタルヘルス不調にさせてしまうと、その病休期間は平均で約3か月、復職後に再び病休になる割合も約半数と、特に小規模事業場にとっては、**大きな人材の損失**となるほか、**経営上のリスク**につながってしまいます。

また、ストレスチェック制度をはじめとした職場のメンタルヘルス対策に取り組むことで、働きやすい職場の実現を通じて、**生産性の向上や人材の確保・定着、企業価値の向上**といった持続的な経営につながります。特に、人材不足が課題となっている小規模事業場においてメリットも大きいと思います。



こうした視点も踏まえて、事業者は、**職場のメンタルヘルス対策を経営課題として位置付け**、ストレスチェック制度にしっかり取り組んでいくことが重要です。

小規模事業場向けマニュアルに沿って、ストレスチェック制度を始めましょう

厚労省の**「小規模事業場ストレスチェック制度実施マニュアル」**は、50人未満の事業場に即した、労働者のプライバシーが保護され、現実的で実効性のある実施体制・実施方法を示したマニュアルです。（令和8年2月公表）

まずは、厚労省ホームページをチェックしましょう。
※**マニュアルの概要版（スタートガイド）**もあります



厚労省HP
（ストレスチェック）

専門スタッフの支援

厚労省が設置する都道府県の**産業保健総合支援センター**では、メンタルヘルス対策の専門スタッフ（社労士、心理職、保健師等）による、研修、相談、**事業場への訪問による制度導入支援**等の支援メニューが無料で受けられます。

都道府県
さんぽセンター



サポートダイヤル

ストレスチェック制度サポートダイヤルでは、ストレスチェック制度の導入・実施についてのご相談に専門スタッフがお答えします。

電話番号：（全国統一ナビダイヤル）
0570－031050
受付時間：平日10：00～17：00
（土日祝日、年末年始は除く）

※運営は厚労省所管の
独立行政法人労働者健康安全機構

「こころの耳」

厚労省が運営するメンタルヘルスポータルサイト**「こころの耳」**では、ストレスチェック制度の実施に役立つ情報（メンタルヘルス対策の学習動画や、**中小企業における取組事例**など）を広く掲載しています。

ポータルサイト
「こころの耳」



（令和8年6月）

㈱アイワードが、「社史と経営者伝・札幌展」を開催

株式会社アイワード（奥山敏康社長/札幌市中央区北3条東5丁目5番地91）は、「社史と経営伝・札幌展」を、10月6日・7日の2日間、札幌市中央区の札幌市教育文化会館で開催した。





同社がこれまで制作を手伝った社史・記念誌・経営者伝でのなかから厳選した100冊の展示が行われ、経験豊かな編集者が社史制作の相談に当たった。

さらに、同社が北海道立総合研究機構と共同研究で開発した「社史編集システム」を北海道で初披露した。

会期中、1日2回、計4回にわたり、同システムの紹介セミナーが行われ、講師は奥山社長をはじめ担当社員が務めた。

これまでの社史・記念誌制作は、膨大な過去資料の収集・解読・年表作成といった「ゼロから調べる作業」に労力の8割を費やし、原稿を執筆した後に「事実の抜け漏れ」や「認識の違い」などで追加資料の準備・再取材を必要とし、専任の社史担当者が何年も時間と労力を費やす「重労働プロジェクト」であった。

同社は、ここに注目し、これからの社史・記念誌制作の負担を軽減するための「社史編集システム」を開発した。

同システムでは、段ボール箱の中の過去資料をデジタル化するだけで、システムがデータベースを自動構築し、一次資料の事実のみを活用してシステムが「粗原稿」を作成するので、お客様は「事実確認と推敲」に専念でき、その後のプロライターによる本格執筆の着手時間が早くなり、何年もかかった調査業務や下書き期間が大幅に圧縮され、コスト的ハードルが下げられる。

加えて、社史編纂の過程で構築されたデータベースがそのまま社員教育に二次利用できる社内資産となる仕組みも紹介された。

また、来場者に同社制作の「記念誌の作り方」が無料で進呈された。

北海道印刷関連業協議会 令和9年新年交礼会のご案内

北海道印刷関連業協議会の令和9年新年交礼会が下記により開催される。

新年交礼会は、令和9年の新春に鑑み、印刷業界ならびに関連業界の皆様が一堂に集い、参加者が活発に交流・賀詞交換等が行えるよう運営される。

日　時	令和9年1月6日(水)午後5時
会　場	札幌グランドホテル (札幌市中央区北1条西4丁目　電話011-261-3311)
会　費	13,000円

新規加入組合員のご紹介

北海道地図株式会社

代表取締役	周 藤 利 通	〒070-8071　旭川市台場1条2丁目1番6号	令和8年10月1日加入 (旭川支部)
TEL.0166-61-5531 ／ FAX.0166-61-3300			

柏楊印刷株式会社

代表取締役	西 出 達 司	〒007-0802　札幌市東区東苗穂2条3丁目4番48号	令和8年11月1日加入 (札幌支部)
TEL.011-789-2377 ／ FAX011-789-2376			



北海道の難読地名

富武士

難読レベル

★★★★☆

ピラオロ展望台から見たサロマ湖(常呂郡佐呂間町富武士)



表紙の解説

富武士（とっぷし）

アイヌ語のト・プシ=「沼・のそば」、またはトプシ=「沼の・頭／岸」の意。

サロマ湖に面した地域であり、湖のそばの場所を指す言葉がそのまま地名として定着。

参考資料：「千年村プロジェクト」 https://mille-vill.org/

難読レベル	
★☆☆☆☆	道外の方でも読める
★★☆☆☆	道民のほとんどが読める
★★★☆☆	道民の半分くらいが読める
★★★★☆	道民でもほとんど読めない
★★★★★	地域住民以外は読めない

※難読レベルは北海道印刷工業組合独自の基準です。